

翻刻と紹介 「幹部候補生奥田良三日記 昭和三年」

上西晴也
佐藤大悟
塚原浩太郎
谷川みらい
志賀賢二

はじめに

本稿は、内務官僚奥田良三（一九〇三～一九八九）が、幹部候補生として京都連隊区の歩兵第九連隊に入営した際の日記である。奥田良三の経歴については、「翻刻と紹介」奥田良三日記 昭和十四年」（『東京大学日本史学研究室紀要』第二十二号、二〇一八）、「翻刻と紹介」奥田良三日記 昭和十五年」（『東京大学日本史学研究室紀要』第二十二号、二〇一九）を参照されたい。本日記は、昭和十四年・十五年の日記とは別に、勲章・賞状類と一緒に奥田良三の遺品として保存されていたものである。

昭和二年、東京帝国大学法学部を卒業して内務省に入省した奥田良三は、翌昭和三年、一年志願兵制度に代わって定められたばかりの幹部候補生制度に基づいて、歩兵第九連隊に入営した。日記は二月一日、良三が営庭に向かうところから始まり、約二ヶ月後の四月十八日で記

述が途切れているが、当時の幹部候補生の生活の様子がよく窺えるものとなっている。

「幹部候補生奥田良三日記 昭和三年」の翻刻は、東京大学大学院人文社会系研究科博士課程の佐藤大悟が書き起こし・原稿取りまとめを担当し、同じく人文社会系研究科博士課程の谷川みらい、塚原浩太郎、上西晴也、法学政治学研究科博士課程の志賀賢二が確認作業を行った。「はじめに」は上西晴也が執筆した。

なお、本日記の翻刻作業終了後、奥田良三長男の奥田良彦氏から、同氏が所蔵する良三の昭和十年代の手帳一冊を閲覧させていただくことになったので、今後その内容を調査する予定である。

末尾になりますが、奥田良三日記の翻刻・紹介をお許しくださり、翻刻文について惜しみなくご助言くださった、上西（奥田）良子氏はじめ奥田家、森本家の親族の皆様、ならびに奥田良三の遺品の保護に快く協力された上西康晴氏に、心より感謝を申し上げます。

〔凡例〕

一 本「日記」の翻刻に際しては、基本的に原文に忠実に従うように努めたが、読みやすさを考慮して、句読点は適宜補足し、旧字は新字に改めた。

一 「日記」原文は基本的に片仮名表記であるが、固有名詞などで見られる平仮名の使用、及び傍線の使用については、原文ママとした。

一 「日記」原文に登場する人名・組織名は原文ママとし、人物・正式名称の推定は行っていない。

一 誤記や一般的でない漢字表記に関しては、基本的に原文ママとし、適宜、〔〕で一般的な表記を補った。

〔表紙〕

■〔表紙に破れあり〕隊日誌

歩兵第九聯隊第一中隊第 班

幹部候補生班

奥田良三

勅諭五ヶ条〔省略〕

軍人ニ賜フタ勅諭〔省略〕

読法〔省略〕

直属上官ノ官姓名

職名

第十六師団長

官名

陸軍中将

氏名

松井平三郎閣下

歩兵第十九旅団長

陸軍少将

有地了介閣下

歩兵第九聯隊長

陸軍歩兵大佐

名越時中殿

第一大隊長

陸軍歩兵少佐

飯野賢十殿

第一中隊長

陸軍歩兵大尉

勝又雄二殿

中隊附士官

陸軍歩兵中尉

島崎秀雄殿

大隊副官代理

陸軍歩兵中尉

古賀清殿

中隊附士官

陸軍歩兵中尉

吉田効殿

大隊副官代理

陸軍歩兵少尉

北野捨治郎殿

中隊附士官

陸軍歩兵特務曹長

平岡勇三殿

教官

陸軍歩兵曹長

森本為次郎

中隊附

陸軍歩兵曹長

山崎佐吉殿

中隊附

陸軍歩兵曹長

山田修殿

中隊附

陸軍歩兵曹長

明珍満洲男殿

第一内務班長

陸軍歩兵軍曹

大隅豹太郎殿

教育班長

陸軍歩兵軍曹

辻分太造殿

第二内務班長

陸軍歩兵軍曹

藤田留次郎殿

同

陸軍歩兵

林栄三郎殿

第三内務班長

陸軍歩兵

大杉惣一殿

第四内務班長

陸軍歩兵

新見繁次郎殿

同

陸軍歩兵

二月一日 水曜日 晴、降雪アリ

第五内務班長

陸軍歩兵

昨夜稲荷駅前ニテ宿

本日午前九時幹部候補生トシテ入営スベキナリ。

昨夜稲荷駅前ニテ宿

ヲ取り、八時半頃營庭ニ到着スルヤウ今朝早ク附キ添ヒノ村役場助役ト義兄吉川富治氏ト同道ニテ宿ヲ出ヅ。營前ニテ三高時代ノ旧友数名ト共ニ第九聯隊ニ入營スルコトヲ發見シテ大イニ安堵シ新シイ光明ヲ見出シタ。見渡ストコロ營庭ハ昨夜来ノ降雪ニテ一面真白トナリ、酷寒肌ヲツンザク稲荷山嵐ト共ニ一段ノ緊張味ヲ増シタ。今後十ヶ月間コノ營舎デ起居スルと思ツテ廻リヲ見渡セバ、異様ノ親シ味ヲ覺エルト共ニ又一面言フニ言ハレヌ淋シミヲモ感ジタ。

第一中隊ナルコトヲ申渡サレ、引率サレテ診察室ニテ身体検査ヲウク。体重十五貫八百、身長五尺六寸二分、胸囲二尺八寸六分、他ニ特筆スベキ欠点ナクソノマ、合格シ、第一中隊ノ班ノ室ヘ来リテ洋服ト軍服トヲ着換ヘスベテ一變シタ。スベテ順調ニ運ビ附添人モ安心シテ帰ヘツテ貰ツタ。何ンダカ落着カヌ俛、多数ノ友人ト久シ振リノ物語リニ時ヲ移シ、午後ハ宣誓式アリ、御眞影奉拜式アリ。為スコト、起ルコト、見ルモノ一トシテ奇ナラザルモノナシ。相〔走〕馬灯ノ如ク入レ代リ立チ代リ起ルコトノタメニソ、クサト一日ヲ過シタ。

二月二日 木曜日 晴

本日ハ種痘アリ。伝染性ノアル病氣ニ対シ軍隊ノ特ニ注意セラレ居ルノニハ感謝シタ。昨日班長殿ニ引率サレテ營内各所ヲ見タガマダ何処ニ何ガアルカ良クワカラス。然シ夜ハ昼ノ活動ノ疲労ヲ休マシメルタメ酒保ニテ善哉ナドヲ口ニシテ旧友ト会谈シタ。

二月三日 金曜日 晴

軍人ノ教養ニ関スル種々ノ書物ヲ買ヒ入レルト共ニ、一面學課アリテ耳新シイ説明ヲ聞キ、他面徒手体操ナドアリテ身体ガニハカニ膨張ス

ルヤウニ感ジタ。食事ハ勿論ソノ他室内ノ掃除等スベテ各自ガヤラネバナラスノデ甚ダ心忙ハシイ。二、三日ノウチ二次ノ如キコトヲ痛感シタ。

- 一、便所ノキタナイコト。
- 二、服装ノ始末ニ余計ナ時間ヲ消スコト。
- 三、食事ガ貧弱デカロリーガ足ラスコト。
- 四、軍人上下官相互ハ只威嚇ノミデ整頓セルコト。
- 五、盜難等ノ恐れ多キコト。
- 六、シヤツノ佩就寢スルノ衛生的ナラザルコト。

二月四日 土曜日 晴

午前ハ學課ト少々ノ教練トアリ。敬礼ノ仕方等ヲ教ハリ次第二軍人トシテノ要素ヲ具備シ来ツタ。午后ハパラチブスト腸チブスノ予防接種ヲウク。

夕食後中學時代ノ旧友ガ主計生トシテ見習仕〔士〕官トナレル人偶然訪レ来リ、時余ニ亘ツテ軍隊内ノ様子ヲ聞キ、又旧イ昔ノ思出話ヲシタ。

二月五日 日曜日 晴後曇

本日ハ飯当番ダ。オ互ヒガ自分ノ食事ニ就イテ自分ガヤルトイフノハ自立ノ精神修養上最モ有効ナ方法ニ違ヒナイ。軍隊ガ修養道場ナリトイフノハカ、ル所ニ存スルノデアラウ。只本日ハ初メテノコトデアリ、殊ニ昨日予防接種ヲウケタコトトテ一層努力ヲ要シタ。数日来禁止サレテ居タ酒保ヘ行クコトガ本日カラ解禁サレテ早速甘党ノ特長ヲ發揮シタ。

二月六日 月曜日 雨

入隊后始メテノ雨天デアツタ。午前ハ「兵語ノ解」ニ就テ学科ガアリ、午后ハ第一中隊室内ニテ軍隊礼式ノ自習及演習ガアツタ。一般社会通用ト異レル点ガ言語及礼式共ニ現レテ居テ面白ク思ツタ。夜ハ酒保へ行ツタ。昼間ノ運動ニヨリ糖分ノ要求ガ大キイ。

二月七日 火曜日 晴

八時半カラ学科アリ、礼式ノ演習アリ。十一時頃応接所前デ教練中父来ル。遇〔偶〕然ノコト、テ一驚ヲ喫シタガ、入隊後嚴寒打チ続キ軍隊ノ襦袢ニテハ感冒ニカ、ツテハトノ杞憂カラ、シヤツ類ヲ持参シテ下サツタノデアツタ。両親ノ御恩ノ深イノニ感激シタ。

午后一時カラ銃ノ授与式アリ。銃ニ関シ中隊長殿ノ御懇篤ナル御注意アリ、後銃ヲ使用シツ、演習シタ。

二月八日 水曜日 晴

午前午後共ニ銃ヲ使用シツ、教練アリ。我々筋骨ノ薄弱ナ者ニ取リテハ銃ハ相当ニ大キナ荷物トナルノガ最モ困ツタ。然シ次第々々ニ扱ヒ易クナルコトダラウト心ヲ休メテモ見タ。教練修了後ノ銃ノ掃除ハ相当ニ骨ガ折レル。然シ軍人精神ノ中心トナルベキ銃、数十年以前ノ先輩諸君ヨリ後輩諸君ニ伝ヘルベキ中間ニ自分トシテ自分ノ精神ノ基本トナルベキモノダト思ヘバ、人一倍手入レモセネバ已マヌ決心ヲシタ。

二月九日 木曜日 晴

銃ノ扱ヒ方モ聊カ慣レタ。本日ハフットボールヲ出シテ自由ノ遊技ガ

アツテ久シ振リニ面白ク若返ヘツタ。

酒保へ行ツテ所謂二年兵トイフ古兵ノ一等卒ガ威張ツテ敬礼ソノ他就キ下級者ニ高圧的ニ注意ヲシテ居ルヲ見テ馬鹿ラシク感ズルト同時ニ、階級の意識等社会的立場カラ考ヘルモ改革スベキ点デハナカラウカト考ヘタ。

二月十日 金曜日 晴

本日ハ午后一時カラ第二回ノ予防接種ガアツタ。第二回ハ相当ニ注射量多イラシク、一時激シイ寒氣ヲ催シ夜ハ相当ニ発熱シテ冷シタ。本日教官殿カラ「入営ノ後十日ニシテ感アリ」トイフ題目ノ下ニ論文ヲ作ルヤウ命ゼラレタ。万感アリ、二、三日ノ中ニ一纏ニシテ書ク積リデアル。

二月十一日 土曜日 雪後晴 紀元節

午前五時非常呼集ノラツパアリ。我々幹部候補生一同ハ昨日予防接種ヲウチ昨晚発熱シタノニ甚ダ無理ナ話デアルガ、上官ノ命トテ仕方ナク中隊前ニ整列シタ。発熱后ノ寒サト共ニ非常ニ息苦シク困リ、軍隊ノ我々ニ対スル態度ノアマリニモ冷酷ナルヲ憤リシガ、ソレハ結局中間者ノ誤リニテ、ソノマ、檀原神宮ノ方ニ向ツテ各自敬礼シテ部屋ヘ歸ヘツタ。

本日ハハジメテ外出出来ルトカ出来ヌトカ、イロ／＼ノ混雜アリ。外出セントスレバ大掃除ヲスルノ要アリトテ少々ノ熱ヲ侵シ大掃除シ外出許可ヲ待チシ時、外出許可ナリガタキ旨ノ通知アリ。特務曹長ガ我々ノ学校卒業ノ年月日ニ学校カラノ通知ト我々ノ報告セシモノト異ツテ居ルトノ理由デ軍隊手帳ヲ渡セヌタメナリトイフ。次第二世ノ中

ノ風潮ニツレテ進歩シツ、アル軍隊ニ始〔初〕メテ大ナル頑迷固陋ヲ見出シテ大イニ反感ヲ懷イタ。已ムナク午后モ寝タリ起キタリ、無益ニ時ヲ過シタ。

二月十二日 日曜日 曇

本日外出ノ際ハ是非帰京ノ積リノトコロ衛戍外地域ノ故ヲ以テ許可出来ヌ由デ、ソレデモ入営后十日振りニ喜ビ勇ンデ営門ヲ出タノハ午前九時半頃デアツタ。自由奔放ナ社会人ヲ見テ自分達ノ余リニモ束縛サレタル生活デアルコトヲ痛感シタ。

先ヅ義弟ヲ銀閣寺町ニ訪問シテ昼食ヲ戴テ直チニ辞退シテ友人ヲ訪フ。電車中遇〔偶〕々前々山形県警察部長現名古屋県学務部長ニ会合シテビツクリシタ。

後丸善書店、大丸、矢尾政ニ立チ寄り久シ振りニ飲ヲツクシテ丁度五時営門ヲクバツタ。

夜ハ十時半マデカ、ツテ論文ヲ作ツタ。

入営後十日ノ感想、大要左ノ如シ。

一、幹部候補生制度ニ対スル疑問、ソノ他我々ガ果タシテ良ク肉体的激動ニ堪エウルヤ問題デアルトイフコト。

一、カクノ如ク多数有用ノ人物（一般現役兵ヲモ含ム）ヲ軍務ニ用フルコトハ人物経済上オシキコトナリ。

一、一等卒ノ二等卒ニ対スル態度ヲ中心トシテ軍隊ガ一般人ニ階級的反感ヲ養成セヌカラ憂フルトイフコト。

二月十三日 月曜日 晴

昨夜0時頃近クニ火事アツタタメ呼集アリ。丁度睡眠ノ始メデ熟睡中

トテ本日一日中眠クテ困ツタ。

昨日一日遊ビ態度ガワルクナツタトテ今日ハ又猛烈ナル教練ガアツタ。今日ハ我々ノ教育ヲ監督セラレル酒葉少佐殿ガ軍隊教育ニツキ時余ニ渡ツテ有益ナル御講演ヲシテ下サツタ。午后射撃ニツキ教官殿ノ説明ガアツタガ寝〔眠〕クテ困ツタ。

二月十四日 火曜日 雨

今日ハ立チ打ちノ練習ヲヤツタ。我々ノ如ク筋骨ノ薄弱ナル者ハ重イ銃ノ動作ニツイテハ大イニ考慮ヲ廻ラスノ要ガアル。余ハ只中学時代ホンノ暫ラク銃ヲ持ツタマ、高等学校、大学ト全然銃ヲ持ツタコトガナイノデ銃ニ関スル知識モ少ク、一段ノ奮闘ヲセネバ一人前ニヤレヌコトヲ痛感シタ。

本日ハ唾液ノ検査アリ。軍隊ガ我々ノ身体ニ就キ徹底的ニ検査シテ下サルノニハ感謝ニ堪エヌトコロデアル。

二月十五日 水曜日 晴

愈々指揮ノ練習ヲ主ニスルコト、ナツタ。立射膝射ナドノ練習ト伴ツテ教練ニ変化ガ出来テ興味ガ出テ来タ。

往々ニシテ軍隊生活ハ単調ニ流レル嫌アリト聞イテキタガ、昨今ハ非常ニ愉快ニソノ日／＼ノ教練ヲナシ得ル。教官殿ノ苦心ノ存スル所モ窺ハレテ感謝シタ。

二月十六日 木曜日 晴

軍隊生活モ半ヶ月経過シテ次第ニ慣レテ来タ。一般学生々活カラ官吏生活ニ入ツテヤ、規律正シイ生活ヲスルヤウニナツタガ、官吏生活中

ハ多クノ人々ヲ下ニ使ツテ居タ關係上自分ガ自分ノ身ノ廻ハリノコトニツキ何等ナストコロガナカツタガ、軍人生活ハ全部自分デアルベキタメ初メノウチハ相当苦シンダガ、昨今ハ平氣ニナツタ。人間ハ、ヤル“トイフ強イ意志サヘアレバ、平生出来ナイト思ツテキル事柄モ出来ルコトガ多イトイフコトヲ痛感シタ。軍隊入隊后尚日ノ浅イ今日右ノコトヲ強ク感じタノハ何ヨリモ大キイ獲物デアル。

二月十七日 金曜日 晴

日曜日衛戍外帰省ノコトニツキ班長ニ御願ヒニ行ツタガ、明土曜日チブスノ予防接種ガアル關係上駄目トノコトデアツタ。余リ身体モ健全デナイ老父母ヲ家ニ置イテ居ル事情ヲ述べタガ駄目トノコトデ、軍隊モ冷イ所デアルト思ツタ。特別ナ事情ノナイ限りモット氣楽ニ軍隊生活ヲ送ラシメルタメニ、家庭トノ關係ニツイテハ出来得ル限り融通スベキモノデハナカラウカ、コノ点考慮ノ余地ガアルヤウニ思ツタ。

二月十八日 土曜日 晴 雪チラツク

昨日ハ中隊教練ニ類シタ団体教練ヲヤリ、次第二団体の教練ヲ為サヤウニナツタ。教官殿ノ厳正ナ態度ニハ感服シタ。今日ハ午前ホンノ僅カ教練ガアツタバカリデ、十一時カラチブスノ第三回予防接種ガアツタ。第三回ハ相当ニ發熱スルトノコトデ今日ハ早くカラ就寝シテ用心ヲシタ。

二月十九日 日曜日 晴

昨晚中ハ發熱ハ大シテナカツタガ、安眠モ出来ズ途中ヨリ目ヲ覺シタ。近所ニ火災ガアルトカデ、不審番等ガ注意シテ居タ。用心ノタメカ今

朝ハ頭ノ重味モ取レ、食事ノ味モアリ、元氣良ク室内ノ大掃除ヲ行ツタ。一週間中ノ樂シミ中ノ樂シミタル外出モイロ／＼ノ事情デアツト一時ニ外出証ヲ貰ヘタ次第、然シ飛ビ立ツ如ク営門ヲ出デ先ヅ京都デ學生時代ノ旧友ヲ訪ヒ、散髪ヲナシ、智恩院ニ參リ円山公園ノ冬景氣ヲ眺メテ、丁度五時外出中故障ナク帰隊シタ。コレデ又今后一週間ノ英氣モ出タ。

二月二十日 月曜日 晴午后降雪アリ

本日ハ早朝カラ酒葉少佐ノ陣中要務令ニ関スル學課ガアツタ。イツモ教官殿カラ學課アリ、時ニ異ル教官ヨリ講義ヲ聴クノモ活氣ヲ呈シテ緊張スルモノダ。午后演習中吹雪來襲シテ演習ヲ中止サレタ。夜ハ延灯ヲ利用シテ陣中要務令ノ勉強ヲシタ。

本日ハ普通選舉最初ノ選舉デアル。一面ニ於テ山形県庁ニ在勤シテ居レバ如何ニ多忙デアラウカラ想像スルト共ニ、他面ニ於テ政府ノ干渉問題ノヤカマシカリシ今回ノ選舉モ愈々本日デ大団円ヲ告ゲルノカト思フト自ラ胸ノオドルヲ禁ズルコトガ出来ナカツタ。

二月二十一日 火曜日 晴

本日も朝五時カラ六時半迄不審番ニ立ツタ。ハジメテノコト、テ不安モアリ好奇心モアリ、一時半ノ間ハ案外早く經過シタ。然シ不審番トイフモノモ結局形式的ナモノニ過ギナイカトイフ氣ガシタ。八時半カラ銃ノ手入ニ関スル學課アリ。午后ハ樹木ヲ利用スル射撃ノ演習アリ。ソノ間立射、膝射、伏射、一般ノ演習ノアツタノハ勿論デアル。

二月二十二日 水曜日 晴

予定表ニヨレバ本日午後狹窄射撃ガアルノデ、午前ノ学課トシテ右ニ関シ説明アリ。后一般ノ演習ニ移リ、午后ハ狹窄射撃場ガ差支ヘアツタタメ、明日ノ行軍ニ関シテ学課アリ。嚴寒漸ク去ツテ営庭内ノ花樹モ漸ク綻ビ初メ、演習中モ春ノ気分トナツテ来タ。夜ハ明日ノ行軍ニ就キ軍歌ノ練習アリ。

二月二十三日 木曜日 晴

本日ハ初メテノ行軍デアル。教官殿引率ノ下ニ営外ヘ出ラレルノハ面白イ。八時半カラ九時半マデ行軍ニ関スル注意ヲ主トシテ学課アリ。九時半営庭ヲ後ニシタ。営門ヲ出テ暫ラクシテスグ肩ガイタクナリ出シタノデ心細ク感ジタガ、慣レ、バ別ニ困ルコトモナク行軍出来タ。途中選挙ノ結果ガ判明シタトノ大阪毎日新聞ノ号外ヲ手ニシタ。民政党ガ一人ノ差デ勝トノ報デアツタ。宇治デハ約一時間半休憩アリ。清流ニ足ヲス、ギナガラ疲レヲ休メルノモ亦行軍一流ノ快タルヲ失ハズ。帰途モ元氣ニ往復四里半トイフ行軍モ無事終ヘ夜ハ不寝番ニ服務シタ。

二月二十四日 金曜日 晴

九時カラ狹窄射撃ガアツタ。中学時代ニモ少シハ銃ヲ持ツタコトガアツタガ、真ニ的ヲ定メテノ射撃ハ生レテ初メテノコト、テ好奇心ト不安ト混合シテ居タガ、ヤツテ見ルト案外当ルモノト思ツタ。五発二十五点満点ノ所十三点、以后次第二点數ヲ増加シ彈ヲ集中スルコトニ努メネバナラス。

二月二十五日 土曜日 晴

銃剣術ト撃剣トニツキ第十六師団管下ノ各聯隊對抗試合ガアルトイフノデ、本日ハ朝カラ学課ソノ他ノ教練ハナク兵器、被服ノ掃除手入ノ為メニ当テラレルコトニナツタ。

銃ノ掃除ハ朝カラ二時間余モカ、リ、午后ハ部屋ノ大掃除ヤヤツタ。平生ノ掃除ハホンノ形式的ノモノナノデ時ニハ大掃除モ必要トナルガ、第一平生ノ掃除ヤヤルトスレバモット實質的ニヤラネバナラスト考ヘル。軍隊ノ形式的ナルコトガ表ハレテ居ル一例ト思ハレタ。

夜ハ明日衛戍外帰省出来ルトイフ許可証ヲ得タ。三週間振りデ両親ノ下ニ帰ヘルコトガ出来ルワケデ両親ノ鶴首待チワビテ居ラレル様が目前ニ浮ブ様ナ氣ガシタ。

二月二十六日 日曜日 晴

七時半班長殿ニ挨拶ノ后、八時二十五分桃山駅発ノ汽車ニ乗ルタメ早速営門ヲ出タ。浅利見習士官及八木君ト同車シタノデ汽車中ハ愉快ダツタ。十時帰宅、慈母ニ迎ヘラレテ早速才待チ兼ねノ様々御馳走ニ会ヒ、和服ニ着換ヘテ久シ振リニユツクリト食事ヲスマシ、散々甘イモノヲ食ベテ予定ノ時間ニ家ヲ出デ五時帰營シタ。病身ノ父モ非常ニ元氣ヲ恢復シテ居タノハ何ヨリ喜バシカツタ。

二月二十七日 月曜日 晴

師団ノ編成ニ関スル学課アリ、勅諭ノ拝読アリ。后基本体操ノ実施ソノ他ノ演習アリ。月曜日ハ前日ノ氣分ガマダ何処カニ残ツテ居ルヤウニ思ハレテ活氣ガナイノガ不本意デナラナイ。

二月二十八日 火曜日 晴

戦闘一般ニ関スル概要ノ説明アリ。大津附近ヲ例ニ取りテ説明サル。戦術ノ研究ナド面白ク、頭ヲ働カス余地ノ多イモノデアルコトヲ感じタ。幹部候補生一般ノ態度ニ就キ敏活ト確實トヲ切ニ要求サレ、本日ハ相当ニ成績ガ良カツタト褒メラレタ。演習トシテ敵ニ遮蔽シツ、突進スル方法ヲ教ヘラレタ。

春日晴天ノ下大音デ号令ヲ掛ケルノモ亦快中ノ快ダ。

二月二十九日 水曜日 晴小雨アリ

前哨歩哨ニ関スル学課アリ。歩哨ノ一般守則ヲ覚え、概要ノ説明アリ。我々一般ノ質問ガ凡ベテ戦闘トイフコトカラズツト離レテ居ルトテ教官カラ笑ハレタ。恐ラク我々日常ノ演習モ只基本的タルニ止リ戦闘デハ実施サレヌモノデハナカラウカ。我々が弾雨ノ中ニ在リテ良ク演習中ノ沈着ヲ保チ得ルカ否カ。凡ベテ精神の修養ガ第一ダ。他ハ単ナル技量ニスギヌ、技ハ末ダ心ガ本ダ。

三月一日 木曜日 曇

陸軍演習令ニ関スルコト、勲章ニ関スルコト、ノ学課アリ。午后ハ狹窄射撃アリ。伏射デアツタノデ、少ナクトモ膝射ヨリモ良ク当ルベキトコロヲ今日ハ発射弾五、総点八点ニテ落胆シタ。原因種々アルデアラウガ、初メ記点手ノ勤務ニ服シ疲勞シ手ガ振〔震〕ヘテ困ツタノガ主タル原因ラシイ。

三月二日 金曜日 晴少雨アリ

陸軍刑法ニ関スル学課アリ、教官殿ハ法律ニツイテハ余リ造詣ガ深ク

ハナイラシク只説明書ノ朗読ニ止メラレタ。一般刑法ニ比シ特ニ軍事上ノ目的ノタメニ重刑サレルモノアリ。ソレヲノ解釈ニ就イテモ相当研究ノ余地アルラシク思ハレタ。

学課中先週ノ土曜日中隊使用トシテ班内ノ掃除ノ際、営内靴ノ箱ガ足ノ甲ノ上ニ落チテ裂傷ヲウケ、茲後今日マデ無理ヲシテ教練ニ出テ居タガ次第二重クナリ、已ムナク診断ヲウケルコトナツタ。ソノ結果一日練兵休トナツタ。定日以外休マスコトヲ主義トセル自分ガカ、ル事情ノタメ休マナラヌノハ誠ニ残念ダ。

三月三日 土曜日 晴

午前中一ヶ月間ニオケル軍隊生活ニツキ疑ハシイ点ニツキ質問ヲ許サル。質問百出シ甚ダ面白ク研究出来タ。

午后ハ中隊使用トシテ明日師団ノ兵器検査ガアルノデ、ソノ準備トシテ兵器ノ手入ヲスルコト、ナツタ。裂傷ヲウケテカラ一週間目ニニシテ、本月初メテ入浴シタ時ノ気分モ亦格別デアツタ。

三月四日 日曜日 晴

午前二兵器検査アリ。出来ルダケ手入ヲシタ銃ガ當庭ニ整列サレタルハ一種言ハレヌ崇高ノ念ヲ起サシメタ。救急法ニ関シ特ニ専門家ナル軍医殿ヨリ午前午後二亙ツテ説明アリ。襟布一枚サヘモ急場ノ場合ヲ考ヘテ作ラレタモノト聞イテ一入軍隊ノ入念ニ驚嘆シタ。裂傷ノ手当、人口呼吸法等一般人ノ常識トシテモ知りオクベキモノガ多クアツタ。

三月五日 月曜日 晴

勅諭ノ学課アリ。免黜条例ニ就イテ説明アリテ後、歩兵操典ノ説明ア

リ。先日來困却中ノ左足裂傷ニツキ医者ノ診断ヲウケルト共ニ齒ニツキ齒科医ノ診断ヲウク。衛戍病院ニ出張中ノ医者ハアマリニ手荒デ、吾人ノ生命ヲ掌ル重大要務ヲナセル齒ヲ任セルニシノビス、手入ヲ受ケナイコト、シタ。

午後ハ深草練兵場デ地形地物ヲ利用スル射撃ソノ他ノ演習アリ。

三月六日 火曜日 晴

陣中要務令中行軍間ノ警戒ニ関スル學課アリ。大寒中ニモ稀ニ見ルヤウナ寒中肌ヲツンザク中ニ在リテ小隊教練アリ。

午后ハ昨日ト同ジク深草練兵場デ戰鬪各個教練、散兵等ニ関スル基本的説明並演習アリ。タマ／＼聯隊長御來場アリ。一同一層緊張シテ教練ヲ行フ。

三月七日 水曜日 晴降雪アリ

昨夜來寒サ厳シカリシタメ本朝起床スレバ降雪アリ。尚紛々トシテ降ル。學課予定ヲ變更シテ木銃ノ基本的演習アリ。

午后ハ狹窄射撃アリ。第二習會ノ不良ナル成績ヲ回復スべく最善ノ努力ヲナシ、發射彈五、總計二十点ヲ得、シカモ彈ハ右ニ片寄り班中成績最良ナリキ。記念スベキ日ナリ。

〔挟み込み…射撃の的の紙〕

三月八日 木曜日 晴

午前中陣中要務令ニ就イテノ學科アリ。後戰車ガ來テ居ルトイフノデ京都練兵場ヘソノ活動見學ニ行ツタ。大小二車アリ。

午後ハ久宝寺附近ノ竹林ヘ歩哨ノ演習ニ行ツタ。歩哨ニ関スル一般守

則ハ覺エテ居テモ、ソノ実行ノ甚ダムツカシイノヲ痛感シタ。

三月九日 金曜日 晴

午前午後ニ亘リ戰車ノ見學ヲ深草練兵場デシタ。戰車ノ偉力ノ大ナルヲ覺エルト共ニ歩兵ノ偉力ノ貧弱ナルノヲ感ジタ。又歩兵ト戰車トノ連絡、共同ノ一層六ツカシイノヲ感ジタ。今日ハ大津カラ第三大隊ガ行軍シテ來テ居タ。

三月十日 土曜日 雨

今日ハ陸軍記念日デアル。第十六師団ニ於テモ相当大ガカリナ記念演習ガ催サレルノデアルガ、我々ハ入隊后日モ浅イコトトテ演習ニ参加セズ、只京都練兵場デ見學スルコト、ナツタ。豪雨中觀覽者多ク勇壯ナル演習デアツタ。

午后ハ外出來ルトイフノデ、妹ノ宅ヲ訪問シタ。淨子モダン／＼大キクナツテ可愛ラシクナツテ居タ。

三月十一日 日曜日 晴

外出先キ熊野神社マデ行ツテ、八ッ橋ヲ山形、知事・學務部長・審議會宛テ送ラセルコト、シタ。後イバニエスノ激流ヲ見ニ行ツタ。今日ハ久シ振リニ酒類ヲ少々吞ミ非常ニ氣持チ良ク歸營スルト、戰友中田君ガ數分間歸營ガ遅レ、大キナ問題トナリ、結局同君ガ一日ノ重當倉トナツタ。

三月十二日 月曜日 晴

深草練兵場デ分隊教練ガアツタ。愈々各個教練ガ終リ、密集教練トナ

ツタ。

三月十三日 火曜日 晴

来ル十五日内務検査ガアルノデ此頃ハ多忙デ致シ方ガナイ。多忙ナノハ敢テ嫌デハナイガ、衣服ノ整頓ヤ洗濯ノタメニ多クノ時間ヲ消スノハ誠ニ馬鹿ラシクテ致シ方ガナイ。然シコノ機会ヲ利用シテ大イニ洗濯モスマセ整頓ニモ意ヲ注グコト、シタ。

三月十四日 水曜日 晴

午前ハ分隊教練アリ。午后ハ明日ノ内務検査ノ準備ニ当テラレタ。中隊ノ内務検査ガアルトイフノデ、ソノ準備ヲシテ待ツテ居ルト一時間余リシテ無イトイフコトデアツタ。人ヲダマシテ無理ニ押シ通サウトイフ軍隊ノ惡賢イ態度ニ憤慨シタ。

三月十五日 木曜日 晴

班内ノ整頓モ全部出来テ待ツコト約二時間ニシテ聯隊長殿以下ノ檢閲アリ。案外簡単デアツタ。午后ハ目測ノ練習、逆撃ノ練習アリ。約一週間余リ準備ニ準備ヲシテ来タ検査トシテハ余リニ簡単ナノニ失望ヲ感ジタ位デアツタ。

三月十六日 金曜日 晴

先日来日直ナル制度ガ出来テ班ノ一般事務ヲ取り、ソノ取締リヲモ併セ行フコトトナツテ居テ、自分ガ今日直ニ当ツタ。昨日デ内務検査モ終リヤツト一安心ト思ツタ時、又忙ハシイ仕事ガ出来テ身体ヲ休メル暇ガナイ。

部隊ヲ引率シテ久宝寺附近ノ竹藪ヘ行ツテ歩哨ノ練習ヲシタ。村松ト歩哨実演ニ当テラレ、帰營后モ午后ノ狹窄射撃ノ準備ヲセネバナラズ最モ多忙ニ暮ラシ、午后四時カラハ衛兵ト歩哨ノ見学ヲシタ。彈藥庫歩哨、軍旗歩哨及南北兩門歩哨トモニ一通リ実験ヲシタ。夜ノ二、三時頃一人歩哨ニ立ツテ居ルモノノ心細サツク、同情シタ。尚本日ノ射撃ハ發射彈五、総点十九点デアツタ。

〔挟み込み…射撃の的の紙〕

三月十七日 土曜日 晴

本日ハ今週中ハジメテノユツクリシタ日デアツタ。午后ハ舍内デ各自銘銘ノ用ヲ足シテ、入浴ハ第一回デ初メテ聊カ人心地ヲ覺エタ。

三月十八日 日曜日 晴

起床早々大掃除ヲ急ギ外出ハ九時頃デアツタ。村松君ト活動写真ヲ見ニ行クコト、シタガ、時間ガアツタノデ津田君ト三人デ大丸ヘ行き食堂デ輕ク食事ヲスマシ后、東山、円山公園ヲ散策シテ思フ存分春ノ京都ノ景氣ヲ味ツテ後、松竹座デベターオールヲ見タ。人出ガ多クテ大弱リダツタ。

三月十九日 月曜日 晴

来ル二十三、四兩日師団ノ隨時檢閲ガアルトイフノデ、コノ頃ハソノ準備ノタメ分隊教練バカリデアアル。分隊教練ハ元氣ヲ出シテヤレバナカ、面白イ。殊ニ次第二背囊モ重クナリ、今日カラ愈々ホントウノ軍装ヲスルヤウニナツタ。

三月二十日 火曜日 晴

本日モ亦久宝寺附近ノ竹藪ヘ歩哨ノ練習ニ出タ。歩哨ノ実演者ガボンヤリシテ居テ今日ノ成績ハ不良デアツタ。歩哨ノ責任ノ重大ニシテ注意力ヲ集中スルコトノ必要ナルヲ痛感シタ。

三月二十一日 水曜日 晴 春季皇靈祭

朝八時カラ酒葉少佐殿ノ学科アリ。国防トハ如何、国防ノ現状等ニ関シニ、三質疑の応答アリ。例ニヨリソノ講義ハ要領ヲ得ズ。今日ハ春季皇靈祭デ国家的祭日ナルニ、軍隊ニ於テ師団檢閲近キノ故ヲ以テ平常通りノコトヲヤルハ却ツテ礼ヲ失スルコト、信ズ。午后ハ一時カラ三時マデ舍内ニ在リテ歩兵操典ノ分隊教練ニ関スル研究ヲシタ。

三月二十二日 木曜日 晴

分隊教練ニ関スル学科アリテ後、舍内ノ掃除ヲ終リ、午后ハ舍后デキヤツチボールヲナシ、入営后ハジメテ別ナ面白味ト壮快味トヲ覚エタ。今日ハ西広事務官宛長文ノ手紙ヲ書イテ重荷ヲオロシタヤウナ氣ガシタ。

三月二十三日 金曜日 晴

本日ハ師団ノ隨時檢閲ガアル。午后二時半ヨリナルガ午前中ヨリソノ準備ソノ他ニ忙殺サレテ落チツク暇ガナカッタ。

昼食后出発シテ深草練兵場ヘ出カケタ。午后二時ヨリ分隊教練ニツイテ檢閲アリ。自分ハ第一中隊ノ分隊長ヲ努〔務〕メルコト、ナリ、陣地内ノ戰闘デアツタガ、以前ノ練習中ハ幕敵デ移動シナカッタガ、今日ノハ移動スルシ、敵トノ距離ヲ見間違ヘテ突撃ニ進メシメテ後一度

停止セシメタタメ、遲疑スルモノトシテ教官カラ教ヘラレタ。

然シ概シテ成績良効トノ師団長前ニ於テ聯隊長殿ノ批評ガアツタ。

三月二十四日 土曜日 晴

昨日師団長閣下ノ檢閲ガアツタタメ本日ハ休養日ダツタ。

朝カラ居室ニ在ツテ何ヤカヤ今マデ取り残サレタコトヲ行ヒ、第一期檢閲ガアルマデ暫ラク骨休メガ出来ルコト、ナツタ。軍隊モ何トカ言ツテ案外暢氣ナトコロガアルモノダ。

三月二十五日 日曜日 曇少雨アリ

本日ノ外出如何ハ甚ダ問題ニシテ居タガ幸ヒ散歩区域外外出ヲ許可サレルコト、ナリ、取り急ギ營門ヲクグリ駈足ト速歩トヲ混用シ急ギ足デ桃山駅ヘ行ツテ見ルト、丁度七時二十分ノ汽車ノ出ル時デ間ニ合ツタ。車中ニハ旧友石川君ガ乗リ合ハセ久シ振りニ暫ラク話シ、時間ノ都合デ奈良吉川ノ義兄ノ許デ朝食、昼食ヲ頂キ入浴モスマセ、ユツクリシタ氣分ニナツテ午后ノ汽車デ帰營シタ。義兄モ姉モ相変ラズ達者デ殊ニ男子二人モ作ツテキタ。只富隆ガ自分ヲ恐レルノデ困ツタ。帰途桃山下車後八木、古保両君ト夕食ヲ共ニシテ帰ヘツタ。

三月二十六日 月曜日 晴

〔欄外〕 歩兵操典ノ試験、陣中要務令ノ試験。

ソノ後ノ批評ニヨレバ、幹部候補生ノ檢閲ニ於ケル動作ガ最モ良ク、教官モ大イニ面目ヲ施シタトイフコトデアツタ。自分モ少シハ間違ラ演ジタガ、元氣ダケハ決シテ他人ニ劣ラナカッタト自惚レテ居ル。或ハコノ点ガ上司ノ目ニトマツタノデハナイカト思フ。何レニシテモ

一群ノ長トシテ完成サレタ動作ヲスルコトノ六ツカシイコトヲ痛感シタ。

三月二十七日 火曜日 晴

〔欄外〕陸軍礼式ト軍隊内務書ノ試験。

本月末聯隊ノ檢閲、自分達ニハ特ニ査閲ガアルトイフコトガ愈々確定シ、立射膝射伏射ヨリアウル各個教練ヲ行フコト、ナツタ。分隊教練ハ身体ハ疲労スルガ、霸氣ガアツテ面白イガ、各個教練ハ單調ナノガ何ヨリ困ル。

三月二十八日 水曜日 晴

〔欄外〕歩兵操典、武器手入ノ試験。

列国軍備ノ概要ニ就テノ説明アリ。各国ガ飛行機、戦車、毒瓦斯等科学力ニヨル優越ニ如何ニ努力セルカノ大要ガウカハレタ。先日戦車ノ活動ヲ見学シタ時ナドトノ考ヘモ併セテ列国ノ戦闘ノ方法傾向ガ何ハレ、歩兵ノ力ナド甚ダ微力デハナイカ、ソレニツケ日本ノ軍備ニツキ大キナ不安ヲ感ジタ。

三月二十九日 木曜日 晴

又々時間中ハ各個教練アリ。朝ハ点呼後ニ練習アリ。而シテ夜ハ夜間演習アリ、今後ノ戦闘トシテ夜戦ガ益々重大トナリ、夜ノ活動力ノ必要ガ益々加ハリ、日本軍ノ特長ノ一タル夜間ノ戦斗力ノ増大ノ必要ノ愈々大トナルワケダ。夜間ニオケル歩哨ノ誰何斥候ナドノ練習アリ。二時間半程ニテ演習終ツタ。

三月三十日 金曜日 晴後雨

明日ハ愈々査閲トイフノデ今日分隊トシテ演習アリ。分隊長ノ練習ヲセシメラレタ。今日ノ号令ハ相当力ガアルヤウニ思ハレタ。ソノ他各個教練ノアルコトハモトヨリデアル。然シ愈々明日ト思ヘバ自ラ緊張スルノヲ覚エタ。

三月三十一日 土曜日 雨

本日ハ随時檢閲ガアルトイフノデ午前五時半起床、飯上ゲモ早く終ツテ少雨ヲ犯シテ檢閲ノ準備ヲ終ツタ時、雨ノタメ檢閲取り止メノ通知ガアツタ。一同相当ニ氣概ヲ制セラレタ。八時半カラ講堂デ毒瓦斯ニ就イテノ学科アリ。瓦斯研究ナドノ進歩著シキヲ始〔初〕メテ耳ニシテ驚嘆シタ。今後ノ戦争ニ就イテハ我が日本ナドモ、モット深く研究スルノ必要ヲ感ジタ。

四月一日 日曜日 晴

本日ハ日曜日デアルガ、聯隊一般ニ檢閲ガアルノデ、通常日トシテノ教練ソノ他ガアルコト、ナツタ。基本射撃ガアル。生レテ始〔初〕メテ実弾ヲウツトイフノデ矢張り思ハズ緊張味ト若干ノ恐怖味トヲ覚エタ。然シ春ノ暢氣ナ時芝生ノ上デ寝コロンデ待ツテ居ル時ノ気分ハ又格別デアル。

四月二日 月曜日 晴

午前ハ地形ノ利用ニ関スル学科アリ。地形ヲ利用スルコトニ大イニ意ヲ注ガネバナラスコトガ良ク判ツタ。午后ハ管内ニ於テ小哨ノ基本的演習アリ。

四月三日 火曜日 雨 神武天皇祭

八時出發、小雨ヲ犯シテ嵐山ヘ往復六里ノ見當デ戰備行軍アリ。昨日迄ノ天氣ガ良カッタノニ今日ハ又何ト惡イ天氣デ弱ツタ。足ノ傷ガマダ全快シナイデ居タガ行軍ハ是非ニト參加シタ。

途中デ戰備行軍形式ヲトク。基本的教練ヲウケ嵐山デハ約一時間ニ亘リユツクリ休憩シタ。帰途ハ猛雨中トど嵐ノヤウニ濡レテ、然モ軍歌ヲ歌ヒツ、元氣ニ一人ノ落伍者モナク予定ノ時間ニ帰營シタ。面白カルベキ行軍ハ雨天ノタメ非常ニ困ツタガ、雨ノ行軍ノ經驗モ出来、却ツテ元氣ガ出テ良イ有益ナ行軍デアツタ。

四月四日 水曜日 晴

午前ハ地形ニ関スル講義アリ、略圖ノ書キ方要領ニ付説明サル。

午後ハ銃劍術ノ練習アリ。單調ナ生活デツマラス。

四月五日 木曜日 晴

小隊内ニ於ケル分隊ノ教練ニ就キ深草練兵場デ教練アリ。他ノ分隊トノ共同動作ニ関シテハ我々ノ尚研究スベキ点多アルヲ感ジタ。殊ニ我々ガ此ノ頃行ツテ居ルヤウナ戰鬪形式ガ、果シテ今後ノ實際運動ニ役立ツヤ否ヤヲ思フ時ハ寒心ニ堪エヌモノガアル。

四月六日 金曜日 晴

春モ正ニ酣デアル。柳モ芽ヲ吹キ桜花モ愈々綻ビ初メ、練兵場ナドデユツクリ遊ンデ居ル時ハ全ク軍隊ニモ捨テラレスモノアルヲ感ジタ。兎ニ角全ク娯樂離レヲシテ居テ野心モ何モ無イ。暢氣ナモノダ。午後京都岡崎公園ヘロシヤノ最近事情ニ関スル講演ヲ聞キニ行ク。西広事

ム官、園部、毛利、森田氏ノ來訪アリ。

四月七日 土曜日 雨

本日ハ第二回ノ基本射撃デアル。伏射距離二百米。本習会ヨリ総点数ヲ競フコト、ナリ二十五点デアツタ。ハジメテノ射撃トシテハ妥當ナ成績デ、今後ノ努力如何ニヨリテハモウ少シハ進歩スル自信ヲツケタ。本日ハ大雨沛然トシテ來リ、皆 wie ein begossener Pudel⁽¹⁾ 然トシテ帰營シ、午後ハ又テントノ作り方ニ付説明並ニ演習アリ。

〔欄外〕美顔水ノコトニ付明日外出ドメニスルトテ班長ニ大目玉ヲ戴ケリ。

四月八日 日曜日 晴

旧友大輪田君ヲ下加茂ノ下宿ニ訪フ。四条大橋京坂電車下車、村松君ト河原町通ヲ北ヘ行キ終ヒニ加茂マデ徒歩デ行ツタ。兵隊ヘ入ツテカラ無暗ト健脚ニ自信ヲ得タ。加茂デ巡查ニ下宿ヲ聞イタ時、巡查ノ応接振リニモ好感ヲ得テウレシカツタ。大輪〔田〕君ハマダ就寢中デアツタ。既二十時ニナツテ尚起床セヌ暢氣サガ恋シク思ツタ。話ハ尽キズ、旧友達ノコト四方山ノコト自分達ノ生活ニ関シタコト何トシテモ尽キズ。散歩ニ出テ祇園鳥岩樓ニ水だきニ舌ヅ、ミヲ打ち、規定ノ時間ニ帰營シタ。大輪田君モ良イ銀行家ニナツタガ何処トナク力弱ク思ツタ。

四月九日 月曜日 晴

第十六師団ノ招魂祭デアル。岡崎公園マデ祭典ニ參列スルタメ出カケタ。帰途ハ空腹ト渴トノ為メニ殆ンド倒レサウニニ〔ママ〕ナツタ。

水ト金子持参ハ行軍ノ必要条件デアルコトヲ痛感シタ。後日ノ参考トスベキダ。自分ハ第三小隊ノ先頭ニ居タガ右翼分隊長ノ軍曹ノ良イ加減ナ歩調ノ取り方、ソノ他ノ動作ニハ驚イタ。兵卒ニヤカマシク言フ下級下士ノコノ態度ニハ大イニ寒心ニ堪エナイ。下級下士ヲ内務ノコトノミニヤカマシク言ハシメテ、教練ノ実行ノ不充分ニ放ツテ居ル軍制ニハ何トカ改造セネバナルマイ点ガ多イ。

四月十日 火曜日 晴

基本射撃ノ第三習会アリ。膝射ナリ。晴トハ言ヘ曇リモ手伝ツテ二十九点ノ成績ダツタ。帰營後來ル木曜日ニ多摩陵附近ノ地図ノ伸写図ヲ出サネバナラスノデ本日から今日カラソロ／＼初メタ。

四月十一日 水曜日 晴

本日ハ先月ノ師団長殿ノ檢閲ニ対スル慰勞休暇日デアル。皆ハ外出シタガ、自分ハ地図ヲ書クノ必要モアリ、又一面外出シテモ結局単調ナコトニハ変化ガナイトイフ二ツノ理由ノタメニ外出ヲヤメテ地図ヲ書イタ。昼間入浴シテ昼寝スル気分モ亦又格別デアル。

四月十二日 木曜日 晴

昨日仕上ゲタ地図ヲ提出シタ。本日ハ愈々明日カラ三日間帰省出来ルノデ、ソノ氣持チノタメ殆ンド落チツカズ又準備ニ忙殺サレタ。

四月十三日 金曜日 晴

午前六時起床時限ヨリ外出ヲ許サル。待チニ待チタル二泊三日ノ外泊デアル。予定ノ如ク午前九時帰宅ス。長イ間綿ノ入ツタ蒲団ニ寝タコ

トガナイノデ今日ハ思フ存分寝ルコト、シタ。筍子ソノ他季節ノ御馳走ニ舌鼓打ツタコトモトヨリデアル。然シ待つテ居タモノヲモ得テ見ルト案外予期シタ程良クハナイモノ。ベッド上デ七転八倒シタ位デ却ツテ安眠出来ナカッタ。

四月十四日 土曜日 晴

コノ休ミニ齒ノ手入ヲシテオク筈ダツタガ、家ニ落チツクトナカ／＼ソシナ氣持チニナレヌ。鰻ソノ他数日前ヨリ近所ヨリ貰ツテ自分ノタメニ残シテ置イテクレタモノヲ料理シテ貰ツテハ食べ、大菩薩峠ヲ読ンダリ寝コロンダリ、骨バシニ余念ナシ。

四月十五日 日曜日 晴

苦樂ノ対象、苦シミノ日ハ長ク樂シミノ月日ハ短シ。二泊ノ滞在モ早ヤ過ギテ今日ハ帰營セネバナラス。車中八木安井両兄ト会フ。ビールニ喝〔渴〕ヲウルホス。悲哀ノ度愈々大ナリ。

四月十六日 月曜日 晴

身体モ全ク弛緩シテ教練ノツラサ身ニ沁ム。練兵場デ少シ教練ノ后、芝生ノ上デ思フ存分春ノ氣ヲ吸フ。軍旗祭ノ幹部候補生班トシテノ催シ物ニ関シ相談セルモ明案ナシ。

四月十七日 火曜日 晴

今日ハ一日ヲ明日ノ軍旗祭ノ準備ニ費スコトトナツタ。当部屋ノ飾リ物トシテ京ノ名物「金かくし」ヲ自分ノ發案ニヨリふんどしナドヲ使ツテヤルコト、シタ。夕方ニナツテ一般人ヲ室内ニ入レヌトカデ舎前

飾物ヲ必要トスルコト、ナリ、「豊太閤醍醐ノ花見」ヲ舎前ニ作ルコト、ナツタ。

四月十八日 水曜日 晴

軍旗祭当日デアル。五時起床、飾り物ノ残部ヲ完成シ定刻ヲ待ツ。午前九時ヨリ分列式アリ。附近中等学校モ参列ス。殊ニ女子師範ノ分列式ナド珍ナルモノデアツタ。昼食時ニ相当御馳走アルモ一般兵卒ニハ酒ナシ。只夜ニ至リ少々アリシノミ。下士以上ハ昼間ヨリ酔払ツテ不意ヲ現出セリ。日本軍隊ノ最モ大キイ難点ヂヤアルマイカ。セメテ一年一回ノ軍旗祭当日ダケデモ、兵卒一般ニ氣ヲノンビリシテ遊ビ重荷ヲオロシ得ルヤウナ方法ヲ講ブレハ良イノニ。下士以上ト兵卒トノ待遇ノ差ノ甚シイノハ慨憤ニ堪エヌ。

余興ソノ他ノ催シ物ハスベテズン／＼進ミ、一日ノ慰メトシテハ儲ケ物デアツタ。

然シ去年山形ノ軍旗祭ト思ヒクラベテ今昔ノ感ニウタレタ。

前期ヲ回顧シテ

一 軍旗祭ニ就テ

一 饗庭野演習場ニ就イテ

一 成人教育

一 実兵指揮

一 召集歩兵問題ニ就イテ

一 人物経済上ノ点ヨリ成人教育ヲ論ズ

一 一般ニ階級的意識ヲ大キクスルナキカラ虞フ。

註

(1) 「ずぶ濡れのブードル犬のように」 〓 濡れ鼠になつて。解説・翻訳はヤコビ・茉莉子氏の教示による。